

[新規変更します]

## 『経済科学』ノン・レフェリー論文の取扱いについて

編集委員会

ノンレフェリー論文の投稿条件を次のようにする。

### 1. 投稿条件

ノンレフェリー論文掲載条件を次のようにする。

- (1) 指導教員・受入教員等の査読による承認を受けること  
(共著の場合はすべての著者がそれぞれ承認を受けること)。
- (2) 英語を母国語としない投稿者が、英文の投稿論文を提出する場合は必ずネイティブスピーカーにチェックをしてもらい証明を提出すること。
- (3) 留学生が日本語の投稿論文を提出する場合は、日本人に必ずチェックしてもらい証明を提出すること。

必須ではないが、以下を推奨する。

- (4) 投稿前に下記のいずれかを行うこと（共著の場合は著者のうち少なくとも一名でよい）
  - 1) 日本学術会議協力学術研究団体（学術会議）に登録された学会の本大会あるいは部会で報告し、学会のプログラム、受けたコメント、その修正を紙ベースで提出する。
  - 2) 経済学研究科で開催されるセミナー（課題設定型ワークショップ）など一般に広く周知されているセミナー・講演会で報告し、セミナーの日時・場所・出席者数・構成・受けたコメント、その修正を紙ベースで提出する。

### 2. 投稿受付

単著・共著ともノンレフェリー論文の投稿受付を年1回可能とし、掲載は単著・共著あわせて1名につき通算で最大3回までとする。

ノンレフェリー論文の枚数制限もレフェリー論文と同等にする。

### 3. 編集委員会によるチェック

- (1) 編集委員会は投稿されたノンレフェリー論文の体裁、形式をチェックし、修正依頼をすることがある。
- (2) 編集委員会は投稿者の指導教員・受け入れ教員等に、査読した内容について確認することがある。編集委員会が論文の内容に重大な問題が残されていると判断する場合に、修正依頼、または指導教員・受け入れ教員等の承認の一旦取り下げを要請することがある。

4. 実施は2023年 9月 13日からとする。